

10月3日(火)午後3時発表の予定に
つきそれまで取り扱い注意

2023年度デミング賞各賞の受賞者について

2023年10月3日

デミング賞委員会(委員長 十倉 雅和)は、10月3日(火)14時から経団連会館(東京・大手町)において委員会を開催し、2023年度デミング賞各賞の受賞者を決定しました。

デミング賞委員会
委員長 十倉 雅和

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

デミング賞委員会

(一般財団法人 日本科学技術連盟内)

なかしま のりひこ
セクレタリー：中島 宣彦

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1

携 帯：090-2470-4858 (10/3 連絡先)

T E L：03-5378-1212(デミング賞委員会事務局)

E-MAIL：demingprize@juse.or.jp

U R L：https://www.juse.or.jp/deming/ (日)

https://www.juse.or.jp/deming_en/(英)

2023 年度(令和 5 年度) デミング賞 各賞受賞者

2023 年度(令和 5 年度)のデミング賞各賞の審査は、デミング賞委員会の各委員会において本年 3 月から 9 月にかけて行われてまいりましたが、本年 10 月 3 日開催のデミング賞委員会において以下のとおり受賞組織ならびに受賞者が決定いたしました。

本年度授賞式は、11 月 8 日(水)16 時 10 分から東京・大手町の経団連会館において行われ、授賞式の様子をライブ配信することで広くご視聴いただく形式とします。

授賞式に引き続き、17 時 40 分から同会館にて受賞記念祝賀会が行われます。

また、授賞式に先立って、11 月 8 日(水)13 時 00 分から、受賞者による受賞報告講演会が同会場で行われます。

受 賞 者

1. デミング賞大賞

シアット
CEAT Limited

アルナブ バネルジー
(Mr. Arnab Banerjee, Managing Director & CEO)

2. デミング賞本賞

おぼら こういち
小原 好一 氏

前田建設工業株式会社 顧問

(1949 年生, 74 歳)

3. デミング賞 (組織名五十音順)

キャタラー ノース アメリカ
Cataler North America Corporation

たむら なかば
(田村 央 氏 / Mr. Nakaba TAMURA, President)

シーピーラム ラートクラバン
CPRAM Company Limited (Ladkrabang)

ウィサデ ウィシドウィンヨー
(Mr. Wisade Wisidwinyoo, President)

バンコック コ マ ツ
Bangkok Komatsu Company Limited

シャロン ルエンウィライ
(Mr. Charoen Ruengwilai, President)

受賞者参考事項

1. 2023 年度デミング賞大賞

CEAT Limited (インド)

代表者名：アルナブ バネルジー 氏 (マネージング ディレクター & CEO)
Mr. Arnab Banerjee (Managing Director & CEO)

所在地：463 Dr. Annie Besant Road, Near Old Passport Office Worli, Mumbai,
Maharashtra 400030, INDIA (インド)

T E L : +91-96-1951-3707

事業内容：2 輪、4 輪タイヤの製造

売上高：約 1,114 億ルピー (約 2,005 億円)

従業員数：8,207 名

[受賞理由]

同社は、インドのムンバイに本社を置くタイヤ製造会社である。設立は 1958 年であり、1981 年にインドの複合企業である RPG グループの一員になった。主要な製品は、4 輪用、2 輪用、特殊タイヤである。2022 年度の売上は 1,114 億ルピー、従業員数は 8,207 名である。同社は、顧客指向の経営目標の達成を目指し、2008 年に TQM 活動としての Quality Based Management を導入し、この効果的実践により 2017 年にデミング賞を受賞している。この受賞後も、精度を高め範囲を拡大するべく活動を継続している。

同社の TQM の特徴として、顧客ニーズの把握と新製品開発による販売拡大、デジタル技術の活用による顧客に寄り添った販売網整備と顧客満足の獲得、情報インフラの積極的構築によるプロセスの改善が挙げられる。これらの成果により、売上げが 2018 年度に比べ 2022 年度では約 60%向上している。また、例えば 2 輪マーケットシェアでは、2017 年度に 2 位だったものが 2022 年度では 1 位に向上するなど、ブランド力が向上している。加えて、データ連携により改善活動を進め、リードタイム短縮、コスト低減、CO2 削減などの経営目標を達成している。

2. 2023 年度デミング賞本賞

おばら こういち
小原 好一 氏

前田建設工業株式会社 顧問

(1949 年生, 74 歳)

[受賞理由]

小原好一氏は、1972 年に埼玉大学理工学部を卒業後、前田建設工業株式会社に入社し、長年ダム建設事業に土木技術者・品質管理責任者・工事所長として従事した。その後、2003 年から本社にて経営企画部門など主要部門の責任者を経て、2009 年に代表取締役社長に就任した。7 年間の社長時代およびその後の 3 年間の会長時代に、品質経営をベースに様々な革新的活動を展開し、環境保護などの社会価値の創造と収益性の向上など企業価値の両立を図り、社長在任期間に売上高は約 29%増、営業利益は約 3.8 倍となり、同社の企業価値を大きく向上させた。

さらに、日本建設業連合会の理事として日本の建設業界が直面していた諸課題の解決に取り組み、傘下の建設業の生産性の大幅な改善を達成した。また、日本品質管理学会長として経営戦略としての品質経営の重要性を説き、日本の品質経営の推進に貢献した。

3. 2023 年度デミング賞

Cataler North America Corporation (アメリカ)

代表者名：田村 央 氏 (プレジデント)

Mr. Nakaba TAMURA (President)

所在地：2002 Cataler Drive, Lincolnton, NC 28092 U.S.A. (アメリカ)

T E L：+1-828-970-7915

事業内容：自動車用排ガス浄化触媒の製造・販売

売上高：8 億 7,100 万 US ドル (約 1,184 億円)

従業員数：404 名

[受賞理由]

キャタラーグループ最大の海外法人である同社は、北米自動車企業向けに自動車用排ガス浄化触媒を製造・供給している。触媒年間生産個数は 2022 年度で約 870 万個であり、2001 年に設立以来の生産累計は 1 億個を突破している。米国の複雑な経営環境に迅速かつ的確に対応するため、同社は、TQM を積極的に活用してきた。主に、顧客との接点を密にする技術センターの設置、新工場設立による将来を見越した生産能力拡張、新規採用従業員の迅速な戦力化、労働力不足に対応する設備自動化などである。それらを実現する方針管理、日常管理の徹底、科学的管理法の積極的な活用、個人主義が根強い文化環境の中でも機能する多様な改善活動などを駆使し、離職率低下、方針達成率の向上、新たな顧客の継続的獲得、年間販売量目標 1,000 万個の達成など、大きな成果をあげてきた。

CPRAM Company Limited (Ladkrabang) (タイ)

代表者名：ウィサデ ウィシドウィンヨー氏 (プレジデント)
Mr. Wisade Wisidwinyoo (President)

所在地：149 Soi Chalongkrung 31, Lamplatiew, Ladkrabang, bangkok
10520, THAILAND (タイ)

T E L：+66-8-9025-4150

事業内容：ベーカーリーの製造

売上高：約 78 億バーツ (約 325 億円)

従業員数：4,840 名

[受賞理由]

同組織は、CPRAM Co., Ltd.の1事業部門で、ベーカーリー製品の製造と販売を行っている。従業員数は4,840名、売上高約78億バーツ(約325億円)である。

同組織では、首脳部がTQMの有効性を理解し、TQMを中心にした経営フレームワークであるCPRAM-MS Plusや、Innovation Treeを活用している。Innovator制度による新商品開発・技術開発・改善活動の活性化、効果的で効率的な新商品開発体制の構築、自律的なTQMの推進などの特徴ある活動を展開している。

このような優れた活動の結果、売上げや利益の向上、品質不具合の減少、離職率の低減、環境負荷への低減など顕著な成果をあげている。中でもコロナ禍を、新商品開発を中心に乗り切ったことは特筆に値する。

Bangkok Komatsu Company Limited (タイ)

代表者名：シャロン ルエンウィライ 氏 (プレジデント)
Mr. Charoen Ruengwilai (President)

所在地：Amata City Chonburi, 700/21 Moo 5, Bangna-Trad Road,
T.Klongtamru, A.Muang, Chonburi 20000, THAILAND (タイ)

T E L：+66-3821-4780-6

事業内容：建設機械、鋳造品、スペア部品等の生産

売上高：166億バーツ (約691億円)

従業員数：1,023名

[受賞理由]

同社は、1995年に設立された、Komatsu Asia & Pacific Private と Bangkok Motor Works との合併会社であり、主に中規模パワーショベルを生産している。売上高は166億バーツ(約691億円)、従業員数は1,023名である。競争の激化している東南アジア市場での持続的成長を目指して、2019年にTQMを導入した。

同社は、持続的成長のためパートナーである顧客や販売会社、サプライヤー、親会社であるコマツとの連携を深め、地域の要求に合った部品開発や、新製品のリードタイムの短縮を実現している。同社は、工場管理を徹底しており、特に、5SやTPMが現場に定着し、鋳造工場でも明るくきれいな環境で作業が行われている。人材教育を推進しトップ自らがTQM活動を率先して実行することで、TQMについての共通認識を現場に浸透させて、全社的な一体化を進めている。

結果として、東南アジア市場でのシェア No.1 を達成し、鋳造工場では赤字から黒字転換を実現している。さらに従業員満足度を継続的に改善し、離職率も1.5%を維持している。

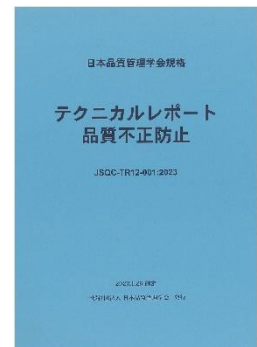
**2023年度(令和5年度)
日経品質管理文献賞 受賞者**

デミング賞委員会は、本年10月3日開催のデミング賞委員会において、2023年度日経品質管理文献賞の受賞者を下記のとおり決定いたしました。

授賞式は、11月8日(水)16時10分から東京・大手町の経団連会館においてデミング賞授賞式とあわせて行われます。

受賞文献 1件

**「日本品質管理学会規格
テクニカルレポート 品質不正防止」**
一般社団法人日本品質管理学会
テクニカルレポート 品質不正防止 原案作成委員会 編
発行所：一般社団法人日本品質管理学会
出版：2023年1月



デミング賞・日経品質管理文献賞の説明資料

I. デミング賞とは

1. 「デミング賞」は、統計的品質管理の工業への応用において終戦後、たびたび指導のため来日された米国人故 W.E.デミング博士(1900～1993)の友情と業績を記念し、わが国の品質管理の一層の発展を図るため、一般財団法人日本科学技術連盟によって1951年(昭和26年)に設けられたものであり、今年で創設72年を迎えました。

また、「デミング賞大賞」は、一般財団法人日本科学技術連盟が、1969年(昭和44年)10月東京で開催した世界初の品質管理国際会議を記念し、その意義を永く将来にわたって維持高揚するとともに品質管理の一層の発展をはかるために創設されたものであります。

企業・組織を対象とする「デミング賞」「デミング賞大賞」は、応募した組織について審査が行われ、授賞を決定いたします。

デミング賞委員会の経費は、一般財団法人日本科学技術連盟によって負担されています。

2. デミング賞の種類

「デミング賞本賞」、「デミング賞普及・推進功労賞(海外)」、「デミング賞」、「デミング賞大賞」の4つがあります。

3. 授賞の対象

賞の種類	賞の概要	対象
(1) デミング賞本賞	1) 総合的品質管理(Total Quality Management、以下TQMという)の研究に関し優れた業績のあった者。 2) TQMの普及に関し優れた業績のあった者。	個人
(2) デミング賞 普及・推進功労賞 (海外)	TQMの普及・推進に関し、優れた業績のあった者。 ただし、候補者は、主たる活動が海外に限定される者に限られる。(原則として3～5年ごとに選考が行われる)	個人 (海外)
(3) デミング賞	経営理念、業種、業態、規模、経営環境にふさわしいTQMが効果的に実施されている応募組織に授与。 (年度賞)	企業・組織
(4) デミング賞大賞	デミング賞を受賞した組織のうち、受賞後3年以上を経過しており、受賞後もTQMにおいて優れた成果をあげた応募組織に授与。(年度賞)	企業・組織

II. 日経品質管理文献賞とは

日経品質管理文献賞は、「TQM」またはそれに利用される統計的手法等の研究に関する文献(数値表やソフトウェアをとまなう文献を含む)で、品質管理の進歩、発展に貢献すると認められる優秀なものを表彰するため、日本経済新聞社により、1954年に創設されました。この賞の審査はデミング賞委員会において行われ、デミング賞行事の一環として毎年賞の授与が行われています。

推薦または応募の資格

日経品質管理文献賞は、日本語で書かれた文献、または、日本を主たる活動の場としている著者の文献で、次に掲げる文献の作成者に授与されます。

- a) 「TQM」またはそれに利用される統計的手法等の研究に関する文献(数値表やソフトウェアをとまなう文献を含む)で、品質管理の進歩、発展に貢献すると認められるものを対象とします。
- b) 対象文献は、原則として、前年の7月1日から当年の6月30日までに公表されたものです。

デミング賞/デミング賞大賞の累積受賞者(組織)数

1. デミング賞本賞
[1951年(昭和26年)以降2023年(令和5年)までの受賞者数] 86名
2. デミング賞普及・推進功労賞(海外)
[2009年(平成21年)以降2023年(令和5年)までの受賞者数] 5名
3. デミング賞
[1951年(昭和26年)以降2023年(令和5年)までの受賞組織数] 延265組織
 - (a) デミング賞 42組織(うち海外26組織)
※2012年度の賞の名称変更以降の数
 - (b) デミング賞実施賞中小企業賞(1994年まで) 38組織
 - (c) デミング賞実施賞事業部賞(1994年まで) 5社5事業部
※1995年からデミング賞実施賞中小企業賞およびデミング賞実施賞事業部賞という名称は廃止され、デミング賞実施賞に一本化されました。
 - (d) デミング賞事業所表彰(2009年まで) 16社20事業所(うち海外3社3事業所)
※2010年からデミング賞事業所表彰はデミング賞実施賞に一本化されました。
 - (e) デミング賞実施賞(2011年まで) 延160組織(うち海外35組織)
※2012年から「デミング賞実施賞」を「デミング賞」に名称変更しました。
4. デミング賞大賞
[1970年(昭和45年)以降2023年(令和5年)までの受賞組織数] 延33組織
(再度の受賞組織2組織、海外12組織を含む)
※2012年から「日本品質管理賞」を「デミング賞大賞」に名称変更しました。
5. 日経品質管理文献賞
[1954年(昭和29年)以降2023年(令和5年)までの受賞件数] 256文献